

日本医史学雑誌 第65巻 第3号

目 次

原 著

- 華岡青洲の「瘍科瑣言」の成立と写本の系統に関する研究…………… 松木 明知 279
従来開業女医についての一考察…………… 三崎 裕子 301
英国における陸軍看護制度と第二次世界大戦における実際
——戦争と看護の歴史をみる視点に焦点をあてて——…………… 川原由佳里 314

研究ノート

- 鎖鼻, 鎖陰, 鎖肛, 鎖宮の語史
——とくに初出文献と初出年について——…………… 松木 明知 329

ひろば

- 家族マンガ・サザエさんからみる戦後から高度成長期の
一般家庭の健康, 医療の課題…………… 大見 広規 341
コペンハーゲンの医学博物館を訪れて…………… 安西なつめ 348

資 料

- 池田文書の研究 (61) …………… 池田文書研究会 352
神内由己の生涯 神内家関連文書より…………… 須永 忠, 神内 國榮 362

記 事

- 例会記録…………… 381
例会抄録
映画『夜明け前 呉秀三と無名の精神障害者の100年』
——特別試写会・解説—— …………… 岡田 靖雄 381
明治期の開業医・狩野謙吾の生涯
——臓器療法の発見者から神経衰弱の専門家へ—— …………… 山田真由美 382
緒方洪庵の薬箱研究を可能にした大阪大学所蔵ケシ標本の意義…………… 高橋 京子 384
鹿慢性消耗病 (Chronic Wasting Disease) …………… 小野寺 節, 杉浦 勝明 385
メガロドン(巨竜)の歯の化石に対する本草学者と蘭学者の考察比較…………… 松山 知明 387
アメリカ国立公文書館資料再考2
——史料を活用したバイオエシックス教育の取り組み—— …………… 丸山マサ美 389
『解体新書』扉絵の書誌的研究 …………… 安江 明夫 390
日本における屍体解剖の黎明期について
——社会文化史的な視点からの再検討—— …………… ヴォルフガング・ミヒエル 392
国民優生法, 優生保護法と精神科医…………… 岡田 靖雄 393

書 評

グレゴワール・シャマユー (Grégoire Chamayou) 著, 加納由起子 訳

『人体実験の哲学』…………… 宮武 光吉 394

吉元昭治 著『図説 道教医学——東洋思想の淵源を学ぶ——』…………… 横手 裕 395

謝 心範 著『養生の智慧と気の思想——貝原益軒に至る未病の文化を読む——』
…………… 光平 有希 397

Wolfgang Michel-Zaitsu 著 „Traditionelle Medizin in Japan

– Von der Frühzeit bis zur Gegenwart“ …………… 梶谷 真司 398

投稿規定 …………… 400

日本医史学会への寄付金について…………… 402

編集後記 …………… 403

《本号の表紙絵》

流行悪疫退さんの図

(片桐棲龍堂所蔵)

大阪府堺市の片桐棲龍堂薬局所蔵の錦絵。1880(明治13)年。内藤記念くすり博物館発行の『はやり病の錦絵』にも掲載されている。同書解説によれば、「頭はライオン、胴体が虎の怪獣に見立てたコレラを人々が追い立てようとしている。洋服の紳士が石炭酸を噴霧している姿は、石炭酸による消毒の進歩を表わしている。」

図をみると、上の山あいには「温泉」、下を走る蒸気列車には「上等人」と記されている。裕福な人々はコレラを避け、避難しているという意味か、列車のすぐ下にも旅装で逃げようとしている人々がみえる。中段には解説にもある石炭酸を噴霧している紳士とサーベルを佩いた警官らしき人物もみえる。怪物の下には、「支那ヘイカウ」の文字がみえ、怪物に擬せられたコレラが他国へ伝播していることが図の読者にも知られていたことがわかる。

上述の『はやり病の錦絵』には、「茶毘(やきば)混雑の図」(1858(安政5)年)も掲載されており、そこでは、安政のコレラ流行のため江戸の火葬場が大混乱となった様子が描かれている。わずか20年余りで、コレラに対する人々の認識は大きく変わり、「流行悪疫退さんの図」では文明開化や医療・衛生によって対処できる自信の高まりが描かれていることに驚かされるとともに、温泉に避難できる裕福な人々と避難せずに対処せざるを得ない人々との対比も読み取ることもできよう。

【文献】

内藤記念くすり博物館。くすり博物館収蔵資料集④ はやり病の錦絵。岐阜県：内藤記念くすり博物館、2001

(逢見 憲一)